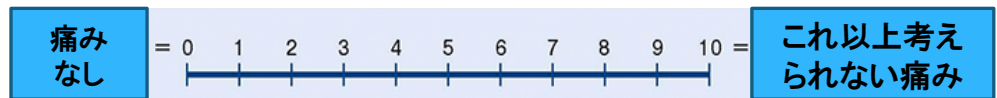


認定看護師ニュースレターVol.24
がん性疼痛看護認定看護師編
2017.7

痛みのスケールNRSについて

- * がん性疼痛は、日常生活への影響・痛みのパターン・痛みの強さ・部位・経過・性状・増悪因子と軽快因子・現在行っている治療の反応・レスキュードーズの効果と副作用・痛みの意味をアセスメントしていきます。
- * 今年度から痛みの強さをNRS (Numerical Rating Scale) を使用や記録していただくよう、記録委員会・緩和ケアリンクナース会で勉強会を実施致しました。
- * 方法：痛みが全くない状態を0、最悪な痛み（これ以上考えられない痛み）を10とすると、現在の痛みはどこに当てはまりますか？と尋ねます。



- * 注意点：2～3だから大した痛みではないと決めつけないことです。結果はあくまで “その患者の痛み” を評価したもの。同じ5点という評価の患者がいたとしても、ある患者は「我慢できない痛み」もう片方の患者は「一番ひどい痛みのことを思えば大丈夫」と様々であるため、一緒だと判断しないことが大切です。
- * 入院時・疼痛が新たに出現した際・治療の効果（医療用麻薬開始後、放射線療法、神経ブロックなど前後の比較）・レスキュー回数が多い時など効果的に活用してアセスメントに役立て患者のQOL向上につなげていただきたいと思います。
- * 【お願い】麻薬の空アンプルをケースに入れて、薬剤科に返却しますが、アンプルを下向きにしてください。薬剤師さんがケガをしないためです。



本館7階病棟村上寛子
(内線1700)

